


分野	31	地域活動・市民活動	通番 57
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市民参画協働推進事業		会計	款	項	目	3,414,905	自治振興室
			一般	2	1	19		
事業の概要								
市民活動団体への財政的支援や活動拠点の提供、幅広い市民の参画の促進、情報発信や啓発などを実施します。 また、計画的に施策を進めるため、計画の策定及び進行管理を行います。								


令和2年度の取組								
D (取組)	指標(H30年度～)	「長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン」施策の達成率				単位	%	
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
	58.9(平成28年度)	目標	/			62.0	63.0	65.0
		実績	/			64.7	70.8	63.8
<ul style="list-style-type: none"> ・市職員の協働意識の向上に向けて、入所1年目の職員に向けて職員研修を行いました。 ・市民参画協働懇話会を2回実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催）し、市民協働のまちづくり推進プランの進行管理や次期推進プランについて意見聴取しました。 ・市民活動団体に市民活動応援補助金を交付し、財政的支援をしました。また、活動発表会を市民活動サポートセンターと3月に共催し、市ホームページで活動内容の紹介も行いました。 					市民活動オフィスフロア			
								

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動応援補助金を9件(894千円)交付し、市民活動団体に財政的支援をしました。「市民提案型協働事業コース」6件申請中5件採択、「スタートアップコース」は3件採択。昨年度に引き続き、スタートアップコースは秋募集も行いました。 ・市民活動オフィスフロアは6団体7ブースの利用がありました。 ・パブリックコメント制度を活用し15件の案件について市民からの意見を募りました。 	
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の財政的自立に寄与する市民活動応援補助金制度について制度が適正かどうか引き続き検討していく必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種事業を開催することが難しくなっています。 	

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動応援補助金制度について実際の採択団体やそのほかの市民活動団体、懇話会委員の意見を取り入れ、より効果的な制度となるよう検討します。 ・引き続き、市民協働のまちづくり推進プランに基づいた施策の研究・実施を図ります。

分野	31	地域活動・市民活動	通番 58
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市民活動サポートセンター 管理運営事業		会計	款	項	目	8,264,514	自治振興室
			一般	2	1	14		
事業の概要								
市内のNPO法人などの市民活動団体の広がりや、ステップアップ、団体と多様な主体との連携を促進するため、市民活動サポートセンターを中間的な支援機能を担う拠点として、指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを持つ団体が、市民への紹介、団体同士及び団体と市民のネットワークづくりの支援、新規に活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスを行います。								


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	ネットワークに関する延べ相談件数				単位	件
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	57	60	63	66	70
	51(平成26年度)	実績	57	40	20	28	25
<p>・一般社団法人市民活動ネット・チーム長岡京を市民活動サポートセンターの指定管理者として、①団体同士や団体と市民のネットワークづくりの支援②センターや協働を市民に知ってもらうための各種事業③団体や活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイス④登録団体のスキルアップのための研修会などを実施しました。</p> <p>・「ひもじば」という横断的に各種団体や支援施設の情報が得られるコーナーを設置しました。団体運営者以外にも市民活動に興味のある人が気軽に立ち寄れる場を創出しています。</p> <p>・ホームページ、フェイスブック、広報誌「サポセン通信」等により、市民活動サポートセンターを周知しました。センターの公式LINEアカウントも開設し、より簡単に情報を共有する仕組みを整えました。</p>					防犯・防災まちづくり懇談会		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	C (評価)	市民活動サポートセンター登録団体数		・相談窓口として門戸を広くPRし登録団体が増加傾向です。
達成度合		C:目標の一部を達成できなかった	<p>・登録団体数(施設利用ができる団体数)は令和元年度の169件から179件に増加しています。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館期間もあり、ネットワークに関する相談件数は目標を達成できていませんが、職員の研修や広報等のPRにより、徐々に活動に関する具体的な相談や事業に参加したい、ボランティアをしたいという個人からの相談も増えてきており、中間支援組織として存在感を発揮してきているといえます。</p>	
課題等			・市民活動サポートセンターの中間支援組織としての役割が市民活動に興味のある市民に充分に届いておらず、認知度が低いと考えられます。	

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当
	<p>対応策等</p> <p>・引き続き市民活動サポートセンターの利用方法や相談方法をホームページや市広報紙、登録団体へのメールマガジンなどで周知活動を行います。</p> <p>・活動に対して的確に助言を行える中間支援組織となるよう、スタッフのスキルアップに努めます。</p>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 59
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	多世代交流ふれあいセンター 管理運営事業		会計	款	項	目	11,788,751	多世代交流ふれあいセンター
			一般	2	1	20		
事業の概要								
市西部の地域活動・市民活動を支える拠点として、また世代を超えた市民の幅広い交流を促進し、市民活動、男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与する場の提供、充実を図ります。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	多世代交流ふれあいセンター利用者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	32,387 (平成26年度)	目標	34,500	35,500	36,500	37,500	38,500
		実績	41,246	38,725	38,853	33,355	26,102
	指標	多世代交流ふれあいセンター利用登録団体数 (生涯学習・市民活動オフィス・男女共同参画・健康福祉のフロア計)				単位	団体
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
141(平成26年度)	目標	149	154	158	163	168	
	実績	151	142	154	161	107	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数制限など新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、利用環境を整備しました。 ・利便性の向上を図るため、給排水設備改修に向けた調査を行いました。 							
							
交流室での活動の様子							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	主な社会教育施設の利用者数		令和元年度末から新型コロナウイルス感染症により利用者が減少しており、令和2年度も大幅な減少となりました。	202
		C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、貸館業務(令和2年4月～5月)の閉鎖や利用者制限、時間短縮(令和2年6月及び令和3年1月～3月)により、館全体の利用者数は減少しています。しかし、「生涯学習フロア」における利用者数は21,249人で、2カ月の閉鎖期間を鑑みると、利用者は微増しています。	
課題等			・曜日によっては、駐車場が混雑することがあります。車両事故や周辺からの苦情が無いよう、適切な施設維持管理方法をとる必要があります。併せて、施設改修としてバリアフリー化などについても課題となっています。		

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1:計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の段差解消などのバリアフリー化について、検討します。 ・給排水設備改修を実施し、利用者の利便性の向上を図ります。 ・駐車場については、西山体育館の駐車場と調整し、利用者に負担をかけないように調整を図ります。
	対応策等